令和７年度上半期ディスクロージャー

Ⅰ　地域貢献に関する取り組み

１．ＪＡ兵庫六甲の特性

ＪＡ兵庫六甲では、協同組合として地球環境をはぐくむ農業と共に協同活動を行っています。このすばらしい農業と地域に密着した活動を通じて、地球の輝く命の環を守り社会の継続的発展に貢献するためＥＭＳ（環境マネジメントシステム）を構築し、環境に配慮した諸活動や安全・安心見守り活動等を展開しています。

一方ではＪＡバンクをはじめ、組合員の要望に応えるため様々な事業を展開し、地域に根ざした金融機関として「安全・安心」と「コンプライアンス（法令等遵守）」を常に意識した活動を展開しています。

（１）農業を通じた共生の活動

インショップ等地場産コーナーの設置による販路拡充や観光農業の活性化などを通じ、「農」と「食」の文化を広める食農教育活動を行っています。同時に環境創造型農業を推進すると共に、異物混入対策や衛生管理も意識するＧＡＰの考え方を取り入れた「安全・安心・安堵（トリプルＡ）の農畜産物づくり」に努めています。

（２）まちづくり活動

行政と連携した農業生産基盤整備に努めると共に、持続可能な農と住の調和したまちづくりに取り組んでいます。

（３）生活文化活動

食と農を基軸とした食農教室や組合員・地域住民のニーズにあったふれあい活動、学習活動、女性組織活動、サークル活動に取り組んでいます。

（４）健康福祉活動

行政や他の組織と連携した健診活動や、組合員、家族および地域の方々の参加による健康増進活動、高齢者福祉活動に取り組んでいます。

（５）信用・共済活動

地域に密着した金融機関として地域に貢献するため、貯金・融資機能を総合的に発揮し、資金需要に応えると共に、日常生活の不慮の災害・事故に対して共済を通じて相互扶助の精神で助け合います。

農業者・事業者等への各種融資制度の活用や保証料の助成、利子補給などによる積極的な相談に努めています。

また、農業者・事業者等に対する融資の返済条件の見直し等の相談にも、より柔軟な対応に努めるなど、農業者・事業者等の経営支援に積極的に取り組んでいます。

（６）事業・組織・経営活動

コンプライアンス態勢の確立を柱に、リスク管理の徹底を図ると共に経営の健全性を目指して、自己資本比率の充実に努めています。また、ＣＳＲ（組合の社会的責任）の一環として、組合員や地域の方々が安心して暮らせるまちづくり（こども１１０番や安全・見守り活動、市民救命士の育成、ＡＥＤ（自動体外式除細動器）の全店設置等の取り組み）を積極的に展開しています。

２．ＪＡ兵庫六甲の概要

名　　称　：　兵庫六甲農業協同組合

代表理事組合長　：　平尾　勝春

所在地（本店）　：　神戸市北区有野中町２丁目１２－１３

総　資　産　：　１６，２１３億円

自己資本額　：　８５１億円

（うち出資金）　：　５４億円

組合員数　：　正組合員　　２９，９７８人
　　：　准組合員　　９７，０７０人
　　：　合計　　１２７，０４８人

役　員　数　：　５０名

職　員　数　：　１，０８１人

（令和７年９月末現在）

３．資金調達の状況

（１）貯金残高　（令和７年９月末現在）

（単位：百万円）

種　類	残　高
当座性	６２１，２４２
定期性	９０２，５１５
小　計	１，５２３，７５７
譲渡性	０
合　計	１，５２３，７５７

（２）貯金商品

＜貯金商品一覧表＞

種　類	期　間	特　　徴
普通貯金	出し入れ自由	いつでも出し入れができ、あらかじめ契約しておくことによって各種公共料金の自動支払いや、給与・年金等の自動受け取りも利用できます。また、ＡＴＭを活用した利用も便利です。
当座貯金	出し入れ自由	商取引の代金支払等、手形・小切手の決済のための口座です。現金事故の防止や無駄を省き、安全で効率的に、その上信用アップにつながります。
貯蓄貯金	出し入れ自由	普通貯金と同じように入出金は自由で毎日の最終残高に応じた金額階層ごとの金利で取扱いしています。給与・年金等の自動受け取りや公共料金等の自動支払いは利用できません。
スーパー定期貯金	1･3･6カ月 1･2･3･4･5･7･10年 又は１カ月超 10年未満で 満期日指定が可能	１円以上の１円単位で期間に合わせ利用できます。 満期日前に解約する場合は、所定の中途解約利率により計算した利息と共に払い戻しします。定型方式の場合は自動継続型も指定できます。 総合口座に預け入れいただくと自動融資も利用でき、いざというときにも便利です。
大口定期貯金	同上	１，０００万円以上の大口資金の運用に利用できる商品です。 金利は預入時の市場金利を参考に決定されます。
総合口座		普通貯金、定期貯金が一冊の通帳で利用できます。 公共料金等の自動支払いや給与や年金等の自動受け取り、さらに預け入れている定期貯金等の残高の90％（最高３００万円）までの自動融資も受けられ、またキャッシュカードとあわせるとＡＴＭ等で自由に預け払いでき大変便利です。
定期積金	12ヵ月以上 84ヵ月以内	目的にあわせて自由に積み立てできます。毎月の掛金定額やボーナス併用、目的額方式等ライフスタイルにあわせて選べます。
財形貯金	一般財形 3年以上 財形住宅・財形年金 5年以上	勤労者の方の資産づくりを目的に給与から天引きで蓄えることができる制度貯金です。使い道に制限がなく預け入れ開始時から１年経過すれば、いつでも引き出しが可能な一般財形や、目的にあわせて使用すれば利息に税金がかからない財形住宅や財形年金があります。
通知貯金	７日以上	短い期間のまとまった資金の運用に利用できます。払い戻すときには払戻日の２日前までに払戻予告（通知）が必要です。
その他		納税準備貯金、期日指定定期貯金、変動金利定期貯金、譲渡性貯金、積立式定期貯金等、様々な貯金をとりそろえています。

４．資金供給の状況

（１）貸出金残高（令和７年９月末現在）

（単位：百万円）

種　　類	残　　高
農業近代化資金	１５１
その他制度資金	５
農業関連融資	６９３
事業関連融資	１７４，２８４
住宅関連融資	２４２，３０６
生活関連融資	６，７０６
その他	５５１
合　　計	４２４，７００

（２）制度融資取り扱い状況

制度資金の種類
農業近代化資金
美しい村づくり資金
大家畜特別支援資金
市民農園資金
日本政策金融公庫資金（青年等就農資金 含む）
兵庫県地球環境保全資金
兵庫県中小企業融資制度資金

（３）融資商品

種　　類	
農業資金関係	アグリマイティー資金
	農業マネジメント資金
事業関係資金	事業資金
住宅資金関係	住宅資金
	賃貸施設資金
生活資金関係	生活資金
［ＪＡ統一ローン］	
ＪＡ教育ローン	
ＪＡマイカーローン	
ＪＡフリーローン	
ＪＡカードローン	
ＪＡ多目的ローン	
ＪＡ営農ローン	
ＪＡリフォームローン	
ＪＡ住宅ローン	

（４）証券投資信託窓口販売実績　（令和７年４月１日～９月３０日）

（単位：千円）

証券投資信託	６５９，４８６

５．文化的・社会的貢献に関する取り組み

令和７年度上半期事業報告

事業活動概況

令和７年度上期は、猛暑や梅雨の短期化といった気候変動の影響が続き、農畜産物に影響を与えました。政府による備蓄米の放出によって米の市場価格の安定化を図ったものの、依然として食料供給をめぐる不安定さは残されています。また、令和６年産米の年間平均価格は、過去最高を記録すると共に、令和７年産米の概算金は昨年を大きく上回る金額となりました。再生産価格の確保や農家所得の安定を図るまでには課題が多くある状況が続いています。さらに、物価高騰や最低賃金の引き上げによる企業の負担増、日銀の金融政策を含めて社会経済情勢の変動など、わたしたちを取り巻く環境は複雑さと不確実性を増しています。

このような中、農業面においては、高温耐性をもった水稲品種の試験導入やスマート農業の試験導入を通じて、生産性向上と安定供給に努めました。また、令和６年産米の価格見直しによる農家生産額の積み上げの実施など、農家所得の向上を図ると共に、再生産価格の確保をふまえた商談や販売先の拡充など販売力の強化に努めました。加えて、生産コスト削減と利便性向上に向けてネット購買の運用開始や消化仕入方式の導入店舗の拡大を行いました。

くらし面においては、引き続き相続シミュレーションの提案や店頭金利の見直し、各種季節性貯金キャンペーンの実施などを通して、外部環境の変化や組合員のニーズの多様化に対応し、資産の保全と有効活用、事業承継支援、将来のリスクへの備えを総合的にサポートしました。また、ＪＡ個人ネットバンクやＪＡ共済Ｗｅｂマイページなどのネットサービスの拡充を行い、利用者の利便性向上を図りました。

さらに、組合員の豊かなくらしの実現に向け、住民健診や各種ふれあい活動を通して、組合員の健康づくりや生きがいづくりを支援しました。加えて、各種ＳＮＳによる情報発信を強化し、農業・農畜産物の魅力やくらしのお役立ち情報の発信に努めました。また、より組合員の意見をＪＡ運営に反映させるため組合員座談会や組合員アンケートなどを実施し、幅広く組合員の皆さまの声の集約を行いました。

金利変動や物価高騰によるコスト増加に加え、最低賃金の引き上げへの対応など、ＪＡを取り巻く環境は依然として厳しい経営環境が想定されます。こうした状況下にあっても、当ＪＡは自己改革・経営改革を進め、中長期的な視野に立った健全な経営を目指すこととしています。今年度よりスタートさせた「’２７ビジョン（つなぐ想い　つながる未来）」の実践を通じて、組合員・地域にとって「なくてはならないＪＡ」を目指してまいります。

（令和７年４月１日から令和７年９月３０日まで）

※（　）内の数値は前年度上半期実績を記載しています。

１　組合員の事業を潤すために

（１）販売力を強化します。

①　需要に応じた米づくりと新規需要米等の作付提案を行い水田農業の振興による優良農地の活用を促進します。

農家所得の増大を目的に直売所を中心とした販売を実施しました。また、令和６年産米の激変する販売環境に対応し、販売価格の見直しを実施し価格見直し分については、農家精算額の積上げを実施することで農家所得の増大に取り組みました。

直売（米）販売高　　８５８，８８０千円　　（６６８，６３９千円）

（ア）米穀情勢が激変するなか、米の適切な価格情報の発信や安心してつくれる環境を整えるため、最低保証価格の提示を実施しました。また、需要に応じた売れる米づくりを推し進めました。

令和７年産米契約数量	２５２，１０１袋	（２８１，４７３袋）
内　訳		
うるち米	１７３，００３袋	（１９４，２１１袋）
酒米	６０，８０９袋	（６０，８２４袋）
もち米	４，５７１袋	（５，４１３袋）
加工用米（うるち）	５，３４０袋	（７，１０２袋）
輸出用米（コシヒカリ）	１３２袋	（２２０袋）
輸出用米（山田錦）	３，８９５袋	（３，８９５袋）
飼料用米	４，３４９袋	（９，００８袋）
麦集荷数量		
小麦	１３．６ｔ	（１６．５ｔ）
大麦	４０．８ｔ	（２６．１ｔ）

（イ）地球温暖化などの気候変動に伴い、高温障害による品質低下が見られる中、令和９年産米において高温耐性品種の導入を実施します。その品種試験として「コノホシ」と「にじのきらめき」を管内全域で実施しました。

水稲品種試験	５０か所	（１４か所）

②　ＪＡ直接販売を拡大し、事業拡大を促進します。

農産物の再生産価格の確保をふまえた商談や販売先の拡充など組合員所得向上を意識した販売に取り組みました。

店舗の品揃え強化による販売拡大と生産振興を目的として、農協市場館六甲のめぐみ、農野花、パスカルさんだ一番館、スマイル阪神において、産直品の遠隔地出荷・販売（オール兵庫六甲産直品）の拡大を進めました。

直売販売品販売高（委託）	２，０７１，３５６千円	（２，０５３，３１１千円）
青果物販売品販売高（買取）	９７３，９６５千円	（９４０，８３４千円）
オール兵庫六甲産直品　受入店舗数	４店舗	

（ア）地産地消運動を展開するなかで、インショップ等地場産コーナーの設置による販路拡大に取り組み、直接販売力強化を図りました。また、農協市場館六甲のめぐみ・農野花のリニューアルを実施し、利用者満足の向上に取り組みました。

１）設置数

農協市場館等	１６か所	（１６か所）
朝市および直売所、アンテナショップ	５か所	（５か所）
量販店地場産コーナー・インショップ	９４店舗	（９４店舗）

２）農協市場館等実績

来店客数	１，１４４，４８７名	（１，１３８，６７２名）
販売高	３，０４９，８３３千円	（２，７５８，７５７千円）

（イ）管内で生産された米の有利販売を進めるため、協同組合運動による直売所や支店での販売強化、学校給食や病院などの公共施設に地場産農産物の供給を行いました。

学校給食供給実績

米	６５９．５ｔ	（６２１．２ｔ）
野菜	１２０．８ｔ	（１０９．９ｔ）

（ウ）第２６回ＪＡ兵庫六甲牛枝肉共励会の開催、また各種共励会、共進会、子牛市に積極的に参加し、管内「神戸ビーフ」「三田牛」の名声を高めると共に、各種補助事業の取り組みにより肉用牛肥育経営および肉用素牛繁殖経営の安定に努めました。

出荷実績

肉牛	３９０頭	（３８３頭）
子牛	７１頭	（１６２頭）

（２）生産性向上をサポートします。

①　農業の経営安定・拡大をサポートします。

（ア）耕畜連携による地域循環型農業の推進、畜産飼料自給率向上のため、ＷＣＳ（青刈り）の作付に取り組み、（株）ジェイエイファーム六甲と連携のもと刈り取り作業を実施しました。
　また、国産粗飼料利用拡大のため、冬季ＷＣＳ（遅刈り）の肥育農家組合員による実給与を開始しました。並行して、給与試験および枝肉検査に取り組みました。

ＷＣＳ（青刈り）刈り取り面積	４８．０ｈａ	（７６．３ｈａ）
遅刈ＷＣＳの肥育牛への給与試験	３件　３７頭	（２件　３２頭）

（イ）神戸北・三田・阪神にて特産品振興品目（黒大豆枝豆）の生産拡大に向けた推進運動を継続展開しました。さらなる規模拡大のため、ＪＡ兵庫六甲独自事業「基幹的レベルアップ支援事業」による機械導入を提案し支援しました。

基幹的レベルアップ支援事業　導入機械	３件	（３件）

（ウ）新たな栽培管理・技術の確立のため、「ザルビオ」を活用した水稲発生予察調査の実施に取り組みました。生育ステージ予測機能や病害防除推奨アラート機能を活用し、要所をおさえた圃場巡回および営農指導、組合員への情報提供に活用を開始しました。

登録面積	１９．５ｈａ

※ザルビオ・・・衛星画像等をＡＩ（人工知能）による解析を行い、最適な作業管理等を提案する栽培管理システムのこと

（エ）気候変動による高温化により、虫害による品質低下対策として無人ヘリコプターやドローンを活用した共同防除の拡大および２回防除推進の実施により、防除作業の負担やコストを低減し、省力化・効率化を図りました。

散布実績	８７１．０９ｈａ	（７９８．７ｈａ）

（オ）管内基幹作物である水稲の基盤維持を図るため、共同乾燥施設の広域的な利活用の取り組みとして阪神南部地域の籾荷受けを行い、荷受けした籾を市之瀬ライスセンターで乾燥調製を実施しました。そのため市之瀬ライスセンターの能力増強・改修工事を開始しました。

総荷受量	５，０４０ｔ	（４，４０７ｔ）
うち阪神南部地域荷受量	１２ｔ	

（カ）共同撰果機の活用による、トマトの糖度測定や梨の芯腐れ果の混入防止、栗撰果機の効率稼動によって出荷物の高品位均質化、えだまめの出荷調整作業の省力化および色彩選別機による高品位均質化による有利販売に努めました。

野菜等撰果場	１か所	（神戸西）	
トマト、桃、梨、イチジク		７８８．３ｔ	（７３４．６ｔ）
北摂栗撰果場	１か所	（宝塚）	
栗		４．０ｔ	（３．０ｔ）
ビーンセンター	１か所	（三田）	
えだまめ		８７．６ｔ	（８５．３ｔ）

（キ）育苗センターによる良質な水稲苗、花卉・野菜のプラグ苗生産に努め、管内全域への利用拡大に取り組みました。

水稲育苗センター	４か所	（神戸西、神戸北、三田、猪名川）	
供給枚数		３１０，１４８箱	（２９９，６４７箱）
花卉・野菜育苗センター	１か所	（神戸西）	
園芸育苗センターの有効活用		５０，７４９トレイ	（５５，７９９トレイ）

②　安全・安心・安堵（トリプルＡ）の農産物づくりに取り組みます。

環境に配慮した産地づくりに向け、栽培日誌記帳運動を展開すると共に、異物混入対策や衛生管理も意識したＧＡＰの考え方を取り入れたトリプルＡ運動を高める活動に取り組みました。

（ア）各種生産者組織を対象に品質管理の専門家を委嘱し、農産物の品質・表示等の適正化に向けた店舗巡回指導とあわせ、衛生管理チェックシートによる加工品の衛生管理に取り組みました。

トリプルＡ表示アドバイザーチームによる加工現場巡回指導	

	４件	（２件）
細菌検査点数	１４点	（９点）

（イ）残留農薬の基準値超過を防ぎ、農薬適正使用の周知徹底やＧＡＰの取り組みの普及・定着の推進等を目的に安全安心講習会を開催しました。

講習会開催回数	１１回	（１０回）
参加人数	延べ　２８７名	（延べ　１８６名）

（ウ）トリプルＡの意識を高めることと、有事の際に迅速に対応できるように農薬不適正使用の発覚を想定した訓練の実施と残留農薬分析に取り組みました。

想定訓練	１回	（１回）
自主分析	７５点	（６３点）

③　環境負荷低減の取り組みを促進します。

政府による「みどりの食料システム戦略」における「資材・エネルギー調達における脱輸入・脱炭素化・環境負荷軽減の推進」や兵庫県が目指す「環境創造型農業の推進」をはじめとする指針に基づき、地域資源循環を促進し、環境に配慮した産地づくりを進めるため、新たな農業資材開発に取り組みました。

関係行政、肥料メーカーと連携し、再生リン入りの新園芸肥料開発と実証試験に取り組みました。

開発銘柄数	２銘柄

④　購買サービスの利便性向上に努めます。

いつでも、どこでも購買品の注文が可能な「ネット購買」の運用を開始しました。また、農業生産コスト削減とネット購買の普及拡大を目的とした肥料（ＪＡ園芸化成Ｓ５００）と除草剤（タッチダウンＩＱ）のネット限定キャンペーンに取り組み、約１，０００名の登録をいただきました。

「ネット購買」の運用を開始し、組合員の利便性向上を図りました。

登録会員数	９８３名

⑤　資材コスト低減を図り、農家コスト削減に寄与します。

肥料・農薬の価格高騰が続くなか、生産コスト削減を目的に各種キャンペーン、水稲・園芸用の肥料・農薬の予約とりまとめを実施すると共に、主要品目については価格情勢により全農と共に早期在庫確保に努めるなど、組合員への安定・安価供給を行いました。

また、肥料および除草剤でネット購買限定キャンペーンを実施しました。

グリーンセンターでは４業者と消化仕入方式の導入を進め、新たに神戸西グリーンセンターで開始し、合計４店舗での安価商品を含む購買品ラインナップの充実化に努めました。

実施店舗数	４店舗

⑥　事業に必要な資金提案により経営安定・拡大に貢献します。

農業経営の資金面でのサポートによる安定した事業運営への貢献に取り組みました。

農業関係資金貸出実行額	５８件	１５３，４７２千円
農業関係資金貸出残高（当座貸越除く）	３１６件	６９９，７６６千円

（３）資産の有効活用をサポートします。

①　地域の特性や市場ニーズに応じた土地・建物の有効活用を提案します。

（ア）立地や形状に応じた、その土地の最有効活用を考えた提案を実施しました。

賃貸施設（店舗等）建設取扱件数	０件	（１件）
賃貸住宅等建設取扱棟数	１０棟	（１２棟）
事業用定期借地権設定契約取扱件数	３件	（０件）
駐車場工事取扱件数	０件	（２件）
その他土地賃貸等取扱件数	７件	（１件）

（イ）賃貸住宅管理戸数の維持拡大に努めました。
賃貸住宅管理受託実績
令和７年度９月末　（単位：戸）

賃貸住宅	神戸西	六甲北			阪神					合計
		神戸北	三田	西宮北部	宝塚	西宮南部	川西	尼崎	伊丹	
ファミリー	1,955	117	191	142	62	433	253	259	61	3,473
ワンルーム	443	0	313	25	62	172	49	105	0	1,169
合　計	2,398	117	504	167	124	605	302	364	61	4,642

令和６年度９月末　（単位：戸）

賃貸住宅	神戸西	神戸北	宝塚	西宮		三田	川西	尼崎	伊丹	合計
				南部	北部					
ファミリー	1,991	118	62	413	142	191	253	259	55	3,484
ワンルーム	443	0	62	172	25	263	55	111	0	1,131
合　計	2,434	118	124	585	167	454	308	370	55	4,615

②　組合員の大切な資産の維持・管理や、資産価値を高めるリフォーム・リノベーション等を提案します。

（ア）建築物件完了登録データベースへの登録および、データベースを活用した定期的なアフターサポートを実施しました。

アフターサポート実施件数	２７０件	（２５３件）

（イ）設計士によるリフォーム・リノベーションの事前相談や設計提案および工事監理を実施しました。

建築設計管理料	１９，６３７千円	（１２，５２４千円）
設計受託件数	１１件	（９件）
工事監理受託件数	１９件	（１５件）

（ウ）建物診断ならびに老朽物件の再生提案を実施しました。

リフォーム取扱高	７９２，６９６千円	（７３３，５６９千円）
リフォーム取扱件数	２，８２２件	（３，６７８件）
うち大規模リフォーム件数	２４件	（８件）
耐震診断件数	４件	（２件）
新築・リフォーム応援キャンペーン取扱件数	４４件	（５１件）

（エ）組合員住宅の受託拡大に努めました。

住宅建築取扱件数	４件	（５件）

③　賃貸施設オーナーに必要なトータルサポートを提供します。

（ア）家賃収納管理の強化に取り組みました。

家賃滞納金額	９，９７６千円	（１０，３６６千円）
うち３か月以上件数	２０件	（２６件）

（イ）入居斡旋業者との連携強化を図りました。

入居契約件数	１９３件	（２０１件）

（ウ）定期巡回点検や高齢入居者宅訪問活動に取り組みました。

定期巡回点検実施件数	延べ　４，７５５件	（延べ　４，６４３件）
単身高齢入居者宅訪問	延べ　３２３件	（延べ　３８２件）

（４）多様な担い手をサポートします。

①　園芸品目への転換によるモデル経営を提案し担い手の安定経営につなげます。

集落営農組織等による米・麦・大豆など土地利用型の経営形態に園芸農業を組みあわせ、園芸品目の生産体制の構築に注力すると共に、収益の確保、後継者育成に取り組み、持続可能な大規模園芸農業の経営モデルの構築を行いました。

また、広域担い手担当による経営モデルの提案活動に取り組みました。

（ア）農業経営の安定とコスト削減、および園芸産地拡大のため、行政の補助事業を活用した生産設備の拡充や水田農業から園芸農業への転換、水稲裏作活用への支援に取り組みました。また、農業経営の規模拡大や生産方式の合理化等経営改善を図るため、経営計画の達成に向けた取り組みに資金を交付する「農業後継者経営発展事業（親元新規就農者早期経営安定支援）」に取り組み、農家子弟の支援を行いました。

農業施設貸与事業	４件	（８件）
農業後継者経営発展事業	４件	（２件）

（イ）最先端園芸施設「ゆめファーム兵庫六甲」において、栽培・環境データを蓄積し環境制御施設における栽培技術の確立と普及および収量確保と品質向上を目指した経営モデルの実践を行いました。また、夏季の酷暑に対応した品目検討のため、キュウリの栽培検証の取り組みを新たに実施しました。

キュウリ（S-30）	１０ａ当たり	収穫量	２７．２ｔ	
ミニトマト（TTM-180）	１０ａ当たり	収穫量	１２．９ｔ	
イチゴ（章姫）	１０ａ当たり	収穫量	４．８ｔ	（５．７ｔ）
品種試験		キュウリ	１品種	
		ミニトマト	２品種	（４品種）
		イチゴ	６品種	（６品種）

（ウ）最先端園芸施設「ゆめファーム兵庫六甲」で修得した技術、経営のノウハウを活用した企業的農業経営者の育成・独立支援と、研修や視察受入等を通じた技術の普及を図りました。さらにＡＳＩＡＧＡＰ（アジアギャップ）の認証取得を活かした技術の普及を行いました。

農業経営者研修	８８回	（１２１回）
視察研修受入	２２名	（４６名）
農業経営者育成塾生	１名	（０名）

②　新規園芸農家を育成します。

大学、行政、ＪＡが連携した就農プログラムにより、新規就農者育成を実施しました。就農プログラム卒業生などの新規就農者に対しては、訪問による相談活動に取り組みました。

また、産直品の生産・出荷拡大を目的に、定年帰農者や新規就農者を中心に、農会回覧等による広報活動や営農相談員による販路としての提案活動、栽培講習会を実施し、直売所新規会員拡大運動に取り組みました。

直売所新規会員数	８９名	（９４名）

２　組合員の財産を潤すために

（１）資産保全・資産運用をサポートします。

①　農地（都市農地含む）相談機能を通じた農地の有効活用、持続可能な農業を振興します。

（ア）農地・農業水利施設等の長寿命化、適切な管理の実施に取り組みました。

土地改良事業事務受託料	５，００１千円	（５，５３１千円）
市単土地改良事業	１３件	（１５件）

（イ）特定生産緑地等、農地に関する相談活動の実施に取り組みました。

農地に関する相談活動の実施件数	４９件	（３１件）

②　事業活動を通じて大切な資産の形成・運用を提案します。

（ア）組合員の資産形成に貢献する貯金取引の維持・拡大に努めました。

個人貯金残高		１，３５２，１６７，４８４千円 （１，３７８，９４８，６６３千円）
各種優遇金利定期貯金商品		
ネットバンク定期貯金	１，３９３件	３，０８６，７５１千円
相続定期貯金	４５件	３７７，２１０千円
新規定期貯金（夏）	７，０５５件	２０，６８４，３３１千円
サマーキャンペーン定期貯金	１３，６４１件	６０，９９９，３４７千円

（イ）組合員と地域住民の大切な資産の確保、資産づくりにつながる年金振込の取引拡大に取り組みました。

年金友の会活動	会員数		７３，８９５名
年金相談会	相談件数		４９２件
年金受給者専用定期貯金「あんしん」		５５，５６４件	１２３，８２０，７５７千円

（ウ）組合員資産の維持・向上と地域住民の生活を豊かにするため、各種事業資金・住宅ローン・小口ローンなどの融資に積極的に取り組みました。

貸出金残高（公金・金融機関除く）		４０４，１７２，９６５千円 （４０４，８６８，４６５千円）
賃貸施設ローン・事業ローン貸出実行額	１０６件	７，６９６，５４０千円
生活関係資金貸出実行額（保証付ローン）		
住宅・リフォームローン	２２６件	７，４４５，９６０千円
マイカーローン	３０４件	７５９，８１０千円
教育ローン	７４件	８２，４２０千円

（エ）資産形成の提案活動による投資信託の販売に取り組みました。

証券投資信託契約者数（残高あり）	６，２５６人	（４，２１７人）
証券投資信託窓口販売実績	６５９，４８６千円	（６６５，４９３千円）

（２）事業承継をサポートします。

①　資産をまもり、次世代への円滑な資産継承に向けた提案活動を実施します。

（ア）相続シミュレーションの積極的な展開に取り組みました。

相続シミュレーション作成件数	１６０件	（１６８件）

（イ）記帳代行サービス・遺言信託の普及拡大に取り組みました。

記帳代行サービス契約件数	５８７件	（５８２件）

（ウ）相続発生による相談活動の実施に取り組みました。

相続相談件数	３４件	（４４件）

（エ）組合員向け各種セミナーや組合員後継者が参加する研修会を開催しました。

	３５件	（２１件）

（３）将来のリスク対策をサポートします。

①　「ひと・いえ・くるま・農業」の総合保障により、日常生活に安心と満足を提供します。

（ア）組合員と地域住民のくらしを守る共済事業を展開しました。

長期共済新契約	９，４４１件	７７，４４４，５９０千円
短期共済新契約	４３，９０６件	８４８，１０６千円
年金共済支払	６，９９２件	４，４９０，９３４千円

長期共済満期支払	６，８９０件	１９，９３１，４９９千円
長期共済事故支払	３，７４６件	４，４５１，４８２千円

（長期共済新契約は保障金額、短期共済新契約は掛金金額です。）

（イ）新たな共済仕組などの活用と、質を高めた生命系共済・建物更生共済の提案活動に取り組みました。

生命系共済新契約	３，５０３件	４，３６２，６４３千円

（生命系共済新契約は、医療共済、がん共済の治療共済金額、介護共済の介護共済金額、認知症共済の認知症共済金額、生活障害共済の生活障害共済金額または生活障害年金年額、特定重度疾病共済の特定重度疾病共済金額、年金共済の年金年額の合計金額です）

建物更生共済新契約	２，８９３件	５８，４５７，０４０千円

（ウ）農業を含む怪我や事故の賠償リスクから日常生活を守る短期共済の提案活動に取り組みました。

火災共済新契約	３，６１６件	４３，０９６千円
自動車共済新契約	１５，１２４件	７０８，１７８千円
傷害共済新契約	２０，８８８件	３６，１８６千円
賠償責任共済新契約	７１１件	２，２７９千円
自賠責共済新契約	３，５６４件	５８，２６９千円

（エ）災害や事故における適正かつ円滑な支払体制の確立と迅速な支払いに努めました。

自然災害損害査定員	４５６名	
建物更生共済事故支払共済金	３３７件	１６３，９８５千円
自動車共済事故支払共済金	２，０６８件	４６９，９１５千円
火災共済事故支払共済金	２９件	４１，６４６千円
傷害共済事故支払共済金	４２３件	２０，０８３千円

３　組合員のくらしを潤すために

（１）環境や文化に貢献する活動をサポートします。

①　食文化や農業の大切さを共有し合う活動に取り組みます。

（ア）「食農せんせい」など、組合員が活躍する食農教育の場づくりに取り組みました。

食農せんせい	登録者	１１３名	（１１０名）
支店を拠点とした食農教育活動		６１回	（６４回）

（イ）支店を活動拠点とした地元農畜産物のＰＲの場づくりに取り組みました。

支店マルシェ	１３事業所	６８回	（１５店舗　７９回）
花のある支店づくり運動	５８事業所		（６０事業所）

（２）健康づくりや生きがいづくりをサポートします。

①　組合員組織活動のさらなる活性化に取り組みます。

（ア）組合員同士のつながりの場として、支店を拠点に勉強会やスポーツ大会などふれあい活動に取り組みました。

ふれあいフェスティバル	２回	５８０名	（１回	４００名）
ふれあい活動	２２回	１，３４２名	（１９回	２，３３１名）
各種スポーツ大会	５７回	１，４１８名	（３３回	１，２７８名）
協同大学	４回	３３名	（４回	５０名）
協同大学ＯＢ会	３３回	４６５名	（３９回	４９８名）
各種勉強会	３２回	５５６名		

（イ）組織活動のさらなる活性化を目指し、女性組織活動やサークル・文化教室など目的別活動を促進しました。

女性会組織	７地区	会員数	１，４９３名	（７地区　会員数１，７９５名）
生活会	３２集落	会員戸数	６３３戸	

（３６集落　会員戸数　７２９戸）
伊丹女性サークル　会員数　１４５名　（１４４名）
各種サークル数　１９４サークル　会員数　１，８６４名
（２０４サークル　会員数１，９８５名）
文化教室　６９教室　会員数　５５１名　（６９教室　会員数６２７名）

（ウ）持続可能な消費行動（ＳＤＧｓ）の一環として、兵庫六甲ＪＡ女性協議会のフードドライブ活動をサポートしました。集まった食料品は社会福祉法人ジェイエイ兵庫六甲福祉会に寄贈しました。

※フードドライブ・・・家庭で余っている食材を集めて、それを必要としている社会福祉団体・施設などに寄付する活動

４　組合員・地域の課題解決を実現するために

（１）総合相談活動を実践する人財育成・体制整備に努めます。

①　経営理念への理解を深め、実践することができる人財を育成します。

職員一人ひとりが協同組合運動の担い手として、リーダーシップを発揮するための手引きである「協同組合運動の実践に向けて」を刷新し全職員へ配布を行いました。

職員教育においては、若年層教育の強化として３年目職員を対象としたセルフマネジメント研修、管理職のマネジメント力向上のためのハラスメント防止研修を新たに実施しました。

②　高い専門性と提案力を発揮することができる人財を育成します。

（ア）課題を発見し、解決に向けて自ら積極的に行動できる営農相談員の育成を目的に、新任営農相談員研修を開催しました。

研修会開催回数　２回
※下半期に３回、計５回の開催を予定

（イ）組合員の期待を超えるあたたかみのある人財育成のため、全職員に対して協同組合学習および人権啓発学習を実施しました。また直売所１６店舗、グリーンセンター１２店舗を対象に外部講師によるマナー研修および覆面調査を実施し、該当店舗に対してフィードバック研修を行いました。

（ウ）不動産関連資格保有者の拡大に取り組みました。

宅地建物取引士　１０１名　（９７名）
賃貸不動産経営管理士　５４名　（５２名）

（エ）税務・社会保障など専門性の高い職員による総合相談活動を展開し、組合員・利用者の満足度向上に努めました。

有資格者　ファイナンシャルプランナー　３２０名　（３２６名）

③　働きやすく、学び成長できる職場づくりに取り組みます。

（ア）熱中症対策や労働衛生環境の改善・向上、安心して働ける職場づくり等を目的に、各事業所にて塩分タブレット、経口補水液の常備、職員用空調服の支給を実施しました。また、必要な事業所には来店者用にウォーターサーバーを設置しました。

（イ）熱中症対策の一環として、夏季の高温時の農作業負担軽減のため、被覆資材の購入支援を実施しました。

（ウ）職員のやりがいや働きがい向上に向けたエンゲージメント調査やタレントマネジメントシステム導入の検討を進めました。

（エ）若年層や中堅層のエンゲージメント向上と、役割と責任に応じた処遇の実現に向けた新人事制度の導入について、全職員へ説明会を行いました。
　職員の福利厚生の一環として新たな福利厚生サービス「福利厚生倶楽部」を導入しました。

５　自己改革（なくてはならないＪＡであるために）

（１）地域に根差した農協として変わらぬ使命を果たします。

①　ＪＡ運動の仲間づくりを促進します。

（ア）合併２５周年記念事業として、組合員に周年記念品を贈呈すると共に、各地域や事業所において、合併２５周年を記念した活動を実施しました。

（イ）当ＪＡがそれぞれの地域特性や実情を踏まえながら組合員・地域の課題解決等に取り組み、将来にわたって「なくてはならないＪＡ」として在り続けられるよう、全支店の「支店ふれあい委員会」において、組合員との対話の場づくりや、より活発な活動への提案等を行い、支店の在り方等について組合員と共に検討することを開始しました。

支店ふれあい委員会	全地域	６１回　１，０５０名	（６１回　１，１４２名）

（ウ）人口減少・高齢化が加速度的に進むなか、正組合員の維持・拡充につなげるべく、組織一体となって正組合員一戸複数化などに取り組みました。また、新たな仲間づくりに向けて、直売所利用者等に対する准組合員加入促進につなげる仕組みづくりや施策の検討を進めました。

新規加入組合員数（純増）	正組合員	△７８名	（７５名）
	准組合員	△８１名	（△２１６名）
	合計	△１５９名	（△１４１名）
組合員数（令和７年９月末）	正組合員	２９，９７８名	（３０，００１名）
	准組合員	９７，０７０名	（９６，５４７名）
	合計	１２７，０４８名	（１２６，５４８名）

（エ）ＪＡ全中ならびに農林中金が総合ポイントサービス全国システムの停止を決定したことを受け、令和８年３月末をもって同サービスが終了することとなりました。これに伴い、新規会員の加入受付が令和７年３月末に終了しました。そのほか、ポイントの加算期限・利用期限などの詳細について、会員宛ダイレクトメールをはじめ、店頭ポスターの掲示、公式ウェブサイトのお知らせなどを通じて案内しました。

総合ポイント会員数	１２３，６９９名	（１２４，６９０名）
加算ポイント数	３６９，７３２件１０８，４５１，１１６ポイント	（５３１，３１５件１０８，４２７，７９５ポイント）
総合ポイントサービスの終了予定日	令和８年３月３１日	

（オ）組合員・地域住民を対象に、健康啓発イベントや健診活動の開催など、健康やくらしをテーマとした活動に取り組みました。

住民健診	２１会場	４，６４３名	（２１会場４，１２６名）
イベント検診	２会場	２８名	（　１会場　１９名）

（カ）ＳＮＳ等デジタルを活用するなど、幅広く多様な年齢層が参加できる食農教育活動に取り組みました。

デジタルを活用した食農教育活動	２回	３５８名

（キ）学校やＮＰＯなどの地域団体が行う食農教育や農業振興、地域活性化に貢献する団体を応援する「ろくちゃん食農支援基金」の運用に取り組みました。

支援団体、支援活動数	１０団体	１３件	（１３団体　１４件）
キッズ活動	５回	１０１名	（２回　４３名）

② 組合員の意思反映を促進します。

組合員の皆様の意思をＪＡ運営に反映できるよう、地域別総代懇談会・総代会を開催すると共に、Ｗｅｂを活用した組合員アンケートを実施し、リアルとデジタルを融合した意見集約を行いました。

また、より身近な距離感で意見集約が行えるよう、各支店・集落単位において、座談会等を開催しました。

組合員座談会	全地域	１０７回	１，６３１名	（１０８回１，７３２名）
第１回地域別総代懇談会	全地域	３回	５６１名	（３回　５７１名）
第２５回通常総代会	全地域	１回	８５８名	（１回　８６１名）
組合員アンケート	Ｗｅｂ	１回	１，５３４件	（１回　２，１３７件）

③ 組合員・地域社会からの理解と共感が得られる広報活動を展開します。

組合員向け広報誌の発行を中心に、地元マスメディアとの関係構築やＳＮＳの活用などを通じ、地域農業振興への共感と協同活動への理解を得られる広報活動に取り組みました。

広報誌の発行数	３回	２３７，０００部	（３回　２３７，０００部）
マスメディアへの情報発信		２５回	（３３回）
マスメディア向け管内ツアー・懇親会の開催		１回	（１回）
ＳＮＳの投稿数（全アカウント）		７７２回	（５６５回）
インスタグラムフォロワー数（全アカウント）		２１，４４３件	（１６，２７７件）
インスタグラムリーチ数（代表アカウント）		１０，４６６件	（７，６０３件）

④ ＣＳＲの活動に取り組みます。

（ア）ＣＳＲ（組合の社会的責任）活動として、「地域の安全・安心見守り活動」をはじめとした地域貢献活動に積極的に取り組み、組合員や地域住民が安心してくらせる地域社会づくりに努めました。また、ＪＡ兵庫六甲ＥＭＳ（環境マネジメントシステム）への取り組みのなかで、業務品質や生産性向上を図りました。

安全・安心パトロールの実施			
青色回転灯装備による防犯パトロール車両の登録		１台	（１台）
こども１１０番の実施	車両	３１６台	（３１７台）
	事業所	８０か所	（８２か所）
赤ちゃんの駅等子育て支援設備の設置		９か所	（９か所）
ＡＥＤの設置		８０か所	（８４か所）

※ＪＡ兵庫六甲ＥＭＳ（環境マネジメントシステム）・・・環境改善、業務改善、食と農を伝える活動、経費削減、法令遵守への取り組みといった環境保全の貢献にとどまることのない幅広い活動

※ＡＥＤ（自動体外式除細動器）・・・突然の心停止の際、救急車が到着するまでの数分間にこの機器を使って心肺蘇生を行います

（イ）環境やエネルギーの効率化に配慮した取り組みとして、太陽光発電装置の設置や公用車の総台数を削減し、電気自動車を導入しました。

太陽光発電設置事業所数	延べ１９か所	（延べ１９か所）
電気自動車導入事業所数	８か所	（１０か所）

⑤ 経営の健全性と適切性の確保に向けた内部管理体制を強化するとともに、コンプライアンス態勢および適正なリスク管理態勢の充実に取り組みます。

（ア）社会的要請に応えるために、反社会的勢力の排除やマネー・ローンダリング取引の防止、特殊詐欺被害対策などに取り組みました。

※マネー・ローンダリング（資金洗浄）・・・犯罪（麻薬取引・脱税・粉飾決算など）によって得られた資金を、捜査機関からの摘発を逃れるため、架空名義または他人名義の口座を利用して送金などにより資金の出所をわからなくする犯罪行為

（イ）財務面での総合的リスク管理を行うために、ＡＬＭ委員会を開催し、経済金融見通しやリスク情報をふまえ、余裕金運用にかかる重要な運用方針・リスク管理方針、資産・負債の総合管理、

ならびにリスクの量的管理状況を経営体力（自己資本）と比較・対照のうえ運用戦略等の策定を行いました。
　あわせて、事業運営面では、リスクアセスメント委員会の開催により、各事業におけるリスクの評価、顕在化したリスクや潜在的なリスクの洗い出しと対策、また未然防止策の策定に取り組みました。

開催回数

ＡＬＭ委員会	２回	（２回）
リスクアセスメント委員会	１１回	（３回）

（ウ）内部統制システム基本方針のもと、重要勘定科目と関連性の高い業務にかかる自主検査の実施に取り組むと共に、内部統制の適正運用に努めました。

（エ）法令等遵守態勢の確立に向けて、コンプライアンス・プログラムの実践や進捗管理に取り組む他、系統マネロン管理システムの活用によるマネー・ローンダリング対策をはじめ各種リスク管理のためのモニタリング等に取り組みました。

（オ）各事業部門・専門家と連携し、不祥事、苦情、事務ミス等の発生原因の調査と解決に向けて迅速な対応を行い、不祥事未然防止・再発防止に努めました。

（カ）各事業所で「自主検査（点検）チェックリスト」による自主点検を毎月実施し、事務リスク管理態勢の整備と不祥事未然防止に取り組みました。
　また、点検の取りまとめ結果を理事会へ報告すると共に、関連部署と連携して不備事項の改善に努めました。

（キ）災害発生時の事業所運営の継続と役職員の安全を確保することを目指し、「セコム安否確認サービス」を活用した緊急連絡体制の確立に取り組みました。

安否確認訓練実施回数	１回	（１回）

（ク）個々の組合員・利用者の状況をきめ細かく把握し経営実態等をふまえて、系統金融検査マニュアルで求められる金融円滑化管理に則った適正なリスク管理のもと、円滑な資金供給や貸付条件の変更等に努めました。

（ケ）事業資金にかかる経営者等による個人保証について、「経営者保証に関するガイドライン」で定められた趣旨・意向を尊重し、同ガイドラインに則して適切に対応するため、引き続き「経営者保証に関する取組方針」に基づく経営者保証に依存しない融資慣行の浸透・定着に努めました。

（コ）債権の管理・回収に努めると共に、固定化した延滞債権の回収促進に向けた早期の折衝や担保処分等による回収手続きを適切に行うことにより、不良債権の管理に取り組みました。

⑥　ＪＡ兵庫六甲グループ関連組織の連携強化に努めます。

（ア）ＪＡ兵庫六甲グループ関連組織と連携を行い、収支改善や業務の効率化に向けた提案を進めました。

（イ）（株）ジェイエイアクトとＪＡの遊休資産を活用した新たな事業展開の検討を進めました。

（２）中長期的な視野に立って環境変化への適応を果たします。

①　総合力の発揮によって成長戦略を実践します。

（ア）支店・資産管理センターが連携し、定期的な税務･法律相談を開催しました。

税務相談	９２件	（１０９件）
法律相談	１１２件	（１２２件）

（イ）組合員・地域の課題解決に向けた新たな新規事業・サービスの検討を行いました。

（ウ）利上げなどの外部環境を合わせた中長期の収支見通しを立てると共に、組合員の声を反映した事業計画の策定に取り組むなど、自己改革実践サイクルの適正な運用に努めました。

（エ）生活協同組合コープこうべとの包括連携協定に基づく定期連絡会を実施するなど、協同組合間連携の強化に向けた協議を行いました。

（オ）資産管理事業の事業領域の拡大に向けた新たな取り組みについて、プロジェクトを設置し、検討を行いました。

②　地域に根差した事業運営体制を強化します。

（ア）組合員・地域の課題解決に資する体制を強化するために資産管理センターの集約および三田地区において金融店舗の集約を実施しました。

（イ）集約対象となった店舗がこれからも組合員・地域の拠り所となるよう、行政との連携等を通じて、地域の意向を反映した被集約店舗の活用についての協議を行いました。

（ウ）さらなる総合力発揮と課題解決の促進に向けて店舗再編や機能集約など、経営改革案の検討を進めました。

③　将来の安定的な収益確保のため、自主運用の強化に努めます。

将来の安定的な収益確保のため、自主運用の強化に努めました。

預　　金	１，０２８，１８２，８５５千円
有価証券（金銭の信託を含む）	６９，４０４，６５４千円

④　デジタル時代に対応したサービスや業務のＩＴ化を促進します。

（ア）オーナーおよび利用者の利便性向上を目的に、月極駐車場において、Ｗｅｂ契約システムの運用を進めております。また不動産業者間の連携を強化するために、賃貸住宅において、リアルタイム業者間サイトの運用を開始しました。

（イ）ネットサービス拡充による非対面取引の普及拡大に取り組みました。

ＪＡ個人ネットバンク契約者数	２９，３８７名
Ｗｅｂマイページ登録者数	３３，７６７名

（ウ）直売所のラベル発行機を最新バージョンのＰＣに更新し、セキュリティ強化を図りました。
　また、組合員と情報共有を図るため、コミュニケーションツールであるＬＩＮＥ ＷＯＲＫＳを導入しました。

※ＬＩＮＥ ＷＯＲＫＳ・・・ＬＩＮＥユーザーとも直接やりとりできる唯一のビジネスチャット

６．地域密着型金融への取り組み
（中小企業等の経営の改善および地域の活性化のための取り組みの状況を含む）

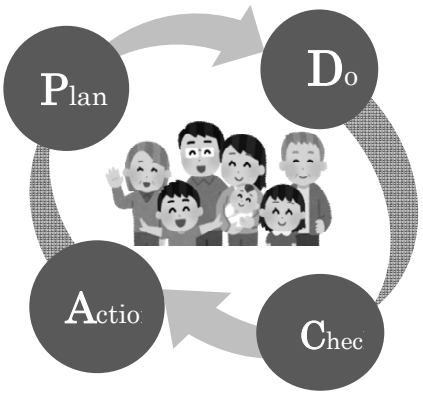
（１）農業者等の経営支援に関する取組方針
当組合は、経営理念のもと、農業者をはじめ地域の皆様に利用される総合事業体として営農・経済事業や金融機能のみならず、環境・文化・福祉といった面も視野に入れた事業・活動を行っています。
なかでも、農業者等の経営支援を重点取り組み事項の１つとして位置づけ、農業技術・生産性向上に向けた各種研修会やセミナー等を開催するほか、低利の農業関連融資を活用していただくための普及・推進活動にも取り組んでいます。
（２）農業者等の経営支援に関する体制整備
各営農センターに営農相談員を配置すると共に、県の改良普及センターとも連携して、農業者の農業技術・生産性向上に向けた相談・指導に応じています。
また、支店の融資担当者も農業経営や農業関連融資に関する知識を深め、農業者からの幅広い相談に応じることができるよう、日々研鑽しています。
（３）農山漁村等地域活性化のための融資を始めとする支援
農業者の多様なニーズに応えていくため、農業融資担当部門と営農・経済部門とが連携し農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施すると共に、各種プロパー農業資金に対応し、また、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて農業者の農業経営と生活をサポートしています。
（４）担い手の経営のライフステージに応じた支援
担い手となる認定新規就農者、認定農業者等に対し、補助事業や農業資金融資を活用していただくなど経営と生活をサポートしています。
（５）経営の将来性を見極める融資手法を始め担い手に適した資金供給手法の取り組み
農業融資については、営農・経済部門と連携し、取引実績や青色申告書等を活用した経営分析を通じて、農業者に適した資金提案を行っています。また、農業者に対する農業近代化資金、農業経営改善促進資金、アグリマイティ資金等の融資について、ＪＡバンク利子補給制度による利子補給を行っています。
（６）農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域への貢献
「地域密着型支店づくり」による支店運営、農産物直売所の運営等を通じ、組合員、地域住民、消費者等のニーズを把握し、より身近な事業運営を行っています。
また、組合員の組織活動、学校・ＮＰＯ等地域団体の農業体験等、広く地域農業に寄与する活動の活性化を図るため「ろくちゃん食農支援基金」を設立し、活動支援を通じて支店と組合員・地域住民の関係強化に取り組んでいます。

ＪＡ兵庫六甲の自己改革実践サイクルについて

１．『自己改革実践サイクル』とは

自己改革の具体的方針、中長期の収支見通し、組合員の意思反映と事業利用の方針を総代会で決定し、その実績を組合員へ説明したうえで、評価・意向を踏まえたアクションプランを策定（修正）するまでの一連の過程を指します。

当ＪＡは、『自己改革実践サイクル』の【計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action)】を毎年継続し、組合員の声をＪＡ運営に反映すると共に、「組合員の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に全力で取り組んでいます。以下、令和７年度９月末現在の取り組み状況です。



２．自己改革の具体的な取り組み状況（組合員の所得増大につながる取り組み）

農業の所得増大に向けて、令和６年産米の価格見直しにより農家生産額の積み上げを図り、再生産価格の確保を踏まえた商談や販売先の拡充をするなど、販売力の強化に取り組みました。

農業生産の安定および拡大に向けて、高温耐性を備えた水稲品種やスマート農業の導入を実施すると共に、生産コスト削減と利便性向上を目的としたネット購買の運用開始や消化仕入方式の導入店舗を拡大しました。

組合員の不動産所得の増大に向けては、市場ニーズに応じた資産の有効活用や資産価値を高めるリフォーム・リノベーションの提案を推進すると共に、賃貸入居率の高水準維持に努めました。

令和７年度は第６次中期計画（２０２５年～２０２７年）「’２７ビジョン」の着実な実践を通じて、引き続き組合員の所得増大に努めてまいります。

「’２７ビジョン」主な数値項目

項目	2025 年度計画	2025 年度上期実績 【年間計画対比】
品種集約に向けた試験実施箇所(8ha 規模)	40 箇所	50 箇所【125.0%】
オール兵庫六甲産直品の受入店舗数	4 店舗	4 店舗【100.0%】
インショップ販売実施店舗数	95 店舗	94 店舗【98.9%】
都市農地に関する相談件数	24 件	49 件【204.2%】
相続シミュレーション実施件数	200 件	160 件【80%】
リフォーム・リノベーション取扱高	14.6 億円	7.9 億円【54.1%】
安定した賃貸施設経営支援(入居率)	入居率 90.0%	入居率 95.2%【105.8%】

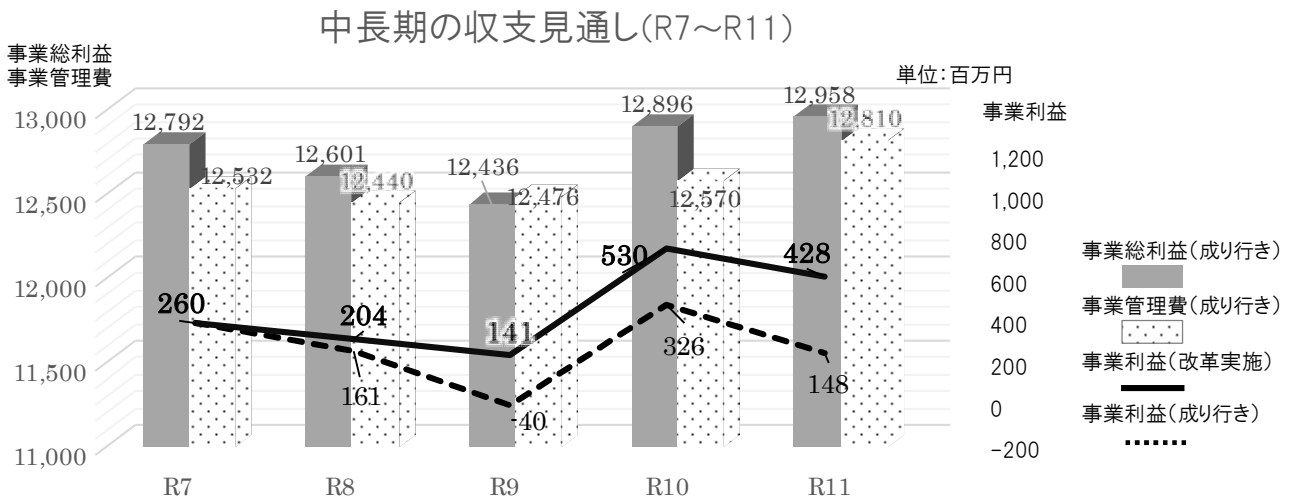
３．中長期の収支見通し（安定したＪＡ経営基盤の確立）

当ＪＡでは、平成２９年より経営の健全化に向けて経営改革に取り組み、拠点再編や要員の整理など段階的に収支改善を実施した結果、当初の計画に対して目標としていた収支改善を達成することができました。

しかしながら、昨今の日銀の利上げに伴う金融コストの増加、原材料やエネルギーの物価高騰、さらに賃金上昇などによって、今後の中長期の収支見通し（成り行き）では事業利益で一時的にマイナスに転じることを予測しています。これは、利上げに伴う信用事業の収支悪化や賃上げに伴う人件費の増加を主因に、当ＪＡの経営に大きな影響を与える状況となっています。

このような厳しい経営環境においても、農業協同組合の使命として引き続き、組合員や地域へ継続的に投資や還元を図り、組合員・地域の「夢」や「願い」を叶えていくことが必要であると考えております。

その為には、今後も引き続き成長と効率化の両面から経営改革を実施し、拠点の再編やデジタル化による業務効率の向上といった効率化に取り組むと共に、新規事業展開や自主運用力の強化など成長分野へ注力することによって安定した経営基盤の確立に努めてまいります。



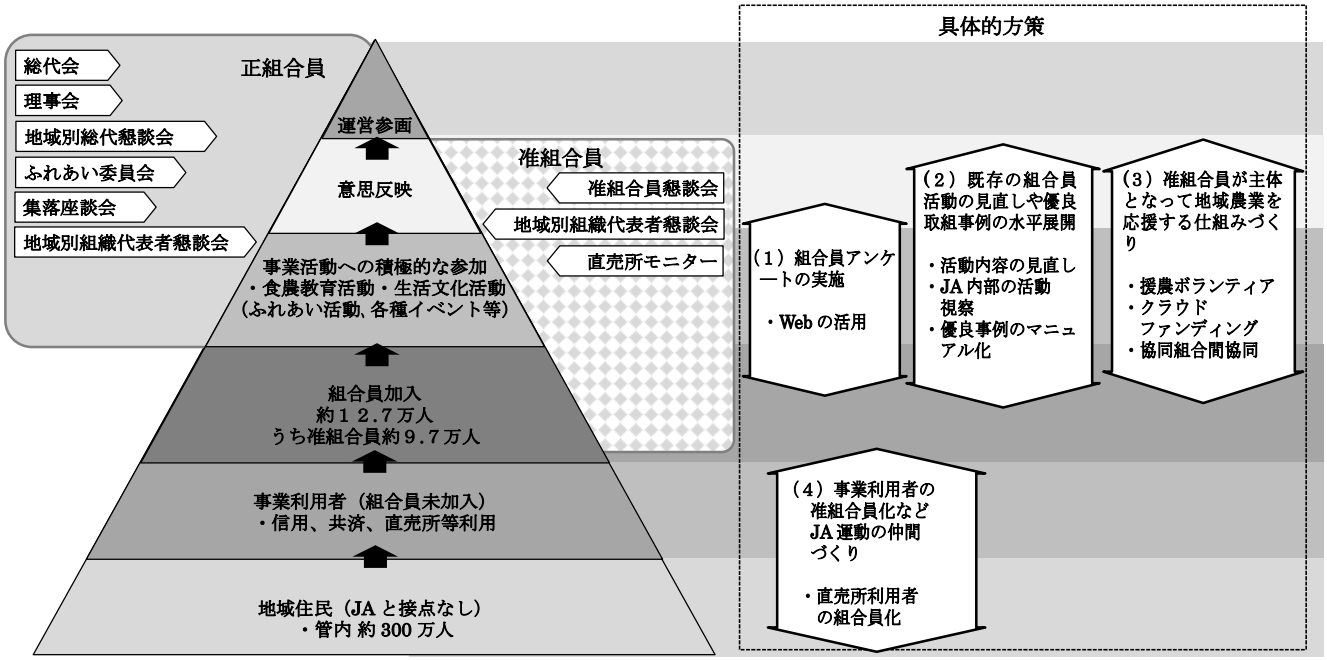
４．組合員の意思反映と（准組合員）事業利用の方針

当ＪＡは多様なルートから組合員の声を集めると共に、適切にＪＡ運営に反映することによって、組合員・地域にとって「なくてはならないＪＡ」であり続けることを目指しています。

令和７年度も、引き続き『リアルとデジタルの融合』を掲げながら、総代会や地域別懇談会を実開催すると共に、より身近な距離感で意見集約が行えるよう、支店・集落単位での座談会や各種組織活動・部会活動等を実施しました。また、より広く組合員の意見を集約するためデジタルツールを活用してＷｅｂアンケートを実施するなど、各事業活動に対する組合員の満足度や期待の声等を反映させたＪＡ運営が展開できるよう、組合員の意思反映の促進に努めました。

准組合員の事業利用方針については、当ＪＡでは准組合員を『正組合員と共に地域農業や地域経済の発展を支える重要なパートナー』として位置づけており、引き続き、准組合員との関係性の強化を図ると共に、准組合員の声を積極的にＪＡ運営に反映しながら事業活動を展開してまいります。

ＪＡ兵庫六甲　組合員による参加参画のステップアップイメージ

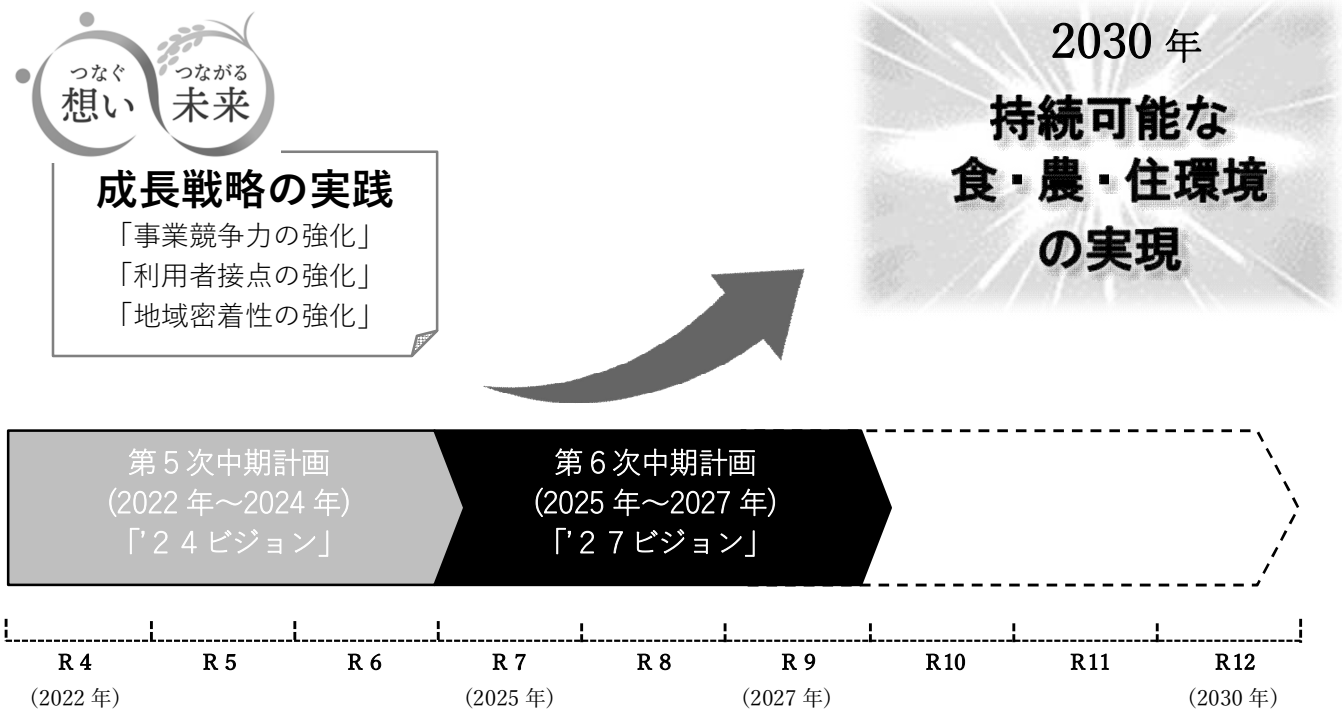


５．自己改革実践の先に

わたしたちＪＡ兵庫六甲の組合員・役職員は、地域に根ざした事業活動を通じて「持続可能な食・農・住環境」の実現を目指しております。

令和７年度よりスタートした第６次中期計画(2025 年～2027 年)「’２７ビジョン」では、2030 年を見据えた成長戦略（「事業競争力の強化」「利用者接点の強化」「地域密着性の強化」）を実践すると共に、農畜産物の販売力強化をはじめ、新規就農者の支援、集落営農組織への支援、資産活用や承継の支援、地域金融仲介機能の発揮など、組合員の課題解決に一層力を注いでおります。

そして、今後も自己改革のＰＤＣＡサイクルを毎期確実に回し続けることによって、引き続き「組合員の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に貢献してまいります。



ＪＡ兵庫六甲の協同活動ハイライト

ＪＡ兵庫六甲では、『未来への挑戦～ともに創ろう、持続可能な食・農・住環境～』をスローガンに、第６次中期計画「'２７ビジョン」に取り組んでまいりました。

「'２７ビジョン」では、組合員の「事業を潤す」「財産を潤す」「くらしを潤す」という３つの視点に立ち、様々なサポートメニューを実践してまいりました。

【'２７ビジョン重点取り組み項目】

Ⅰ 組合員の事業を潤すために

①販売力の強化
②生産性向上のサポート
③資産の有効活用のサポート
④多様な担い手のサポート

Ⅱ 組合員の財産を潤すために

①資産保全・資産運用のサポート
②事業継承のサポート
③将来のリスク対策のサポート

Ⅲ 組合員のくらしを潤すために

①環境や文化に貢献する活動のサポート
②健康づくりや福祉活動のサポート

それぞれの取り組みハイライトをご紹介します。

Ⅰ 組合員の事業を潤すための取り組み

地球温暖化に対応するための水稲品種試験の実施

水稲品種試験
50か所

販売拡大と生産振興に向けたオール兵庫六甲産直品の拡大

オール兵庫六甲産直品
受入店舗数：4店舗

産地づくりに向けた経営モデルの提案活動の実施

春夏作産地づくり実績
目標：3，306a
上半期実績：3，330a（目標対比　100．7%）

新規直売所入会会員人数
年間目標：100名
上半期実績：89名（年間目標対比　89．0%）

	R７年度	
	年間計画	上期実績
販売品販売高	15,743,387 千円	7,998,535 千円

Ⅱ 組合員の財産を潤すための取り組み

相続シミュレーション・農地相談活動

財産の安定運用や相続・事業継承、災害リスクへの備えなどの需要が高まっていることを受け、賃貸施設経営のサポートや相続相談機能の強化、万一の備えにつながる提案活動に努めました。

	Ｒ７年度	
	年間目標	上期実績
相続シミュレーション実施件数	２００件	１６０件
農地に関する相談活動の実施	２４件	４９件

Ⅲ 組合員のくらしを潤すための取り組み

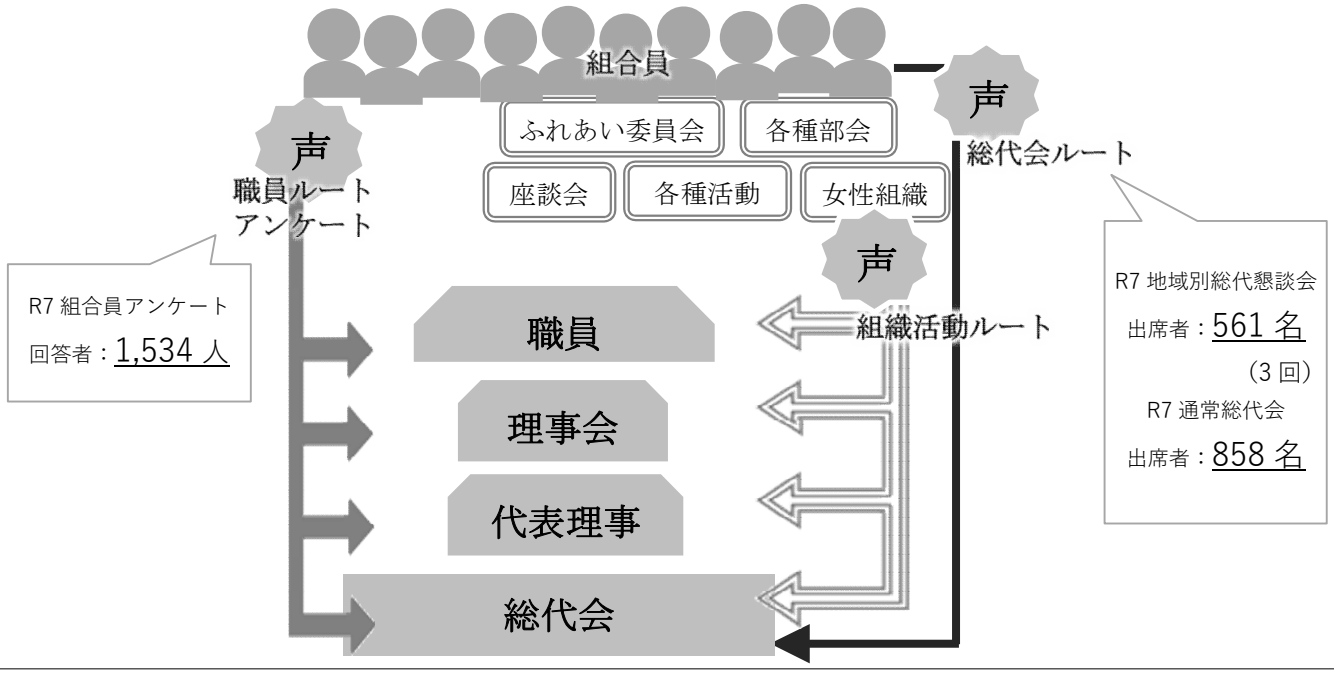
生活文化活動・健康増進活動

近年、希薄化した地域コミュニティを再び活性化するため、ＳＮＳを活用した食農教育活動や組合員の心身の健康を守るための健康増進活動に取り組みました。

	Ｒ７年度	
	年間計画	上期実績
食農教育活動	５２回	６１回
地区健診等受診者数	８，０００名	４，６４３名
花のある支店づくり運動	５２事業所	５８事業所

組合員の皆様の声をＪＡ運営に反映する取り組み

ＪＡ兵庫六甲では組合員の皆様の声を様々なルートで収集し、ＪＡ運営に反映させています。



「’２７ビジョン」策定に向けた組合員の皆様からのご意見

声＝組合員のご意見　　＝当ＪＡの施策　　中期計画「’２７ビジョン」対応項目

※中期計画「’２７ビジョン」の詳細は、パンフレットまたは公式サイトでご確認いただけます。

神戸西地区	声 職員には、組合員や地域としっかり関係を築きＪＡに就職して良かったと思える働き方をしてほしい。 『協同組合人』として職員の成長を促し、ワークエンゲージメントの向上に努めます。 ４-(１)　総合相談活動を実践する人財育成・体制整備に努めます
神戸北地区	声 神戸北地区特有の条件にあった栽培提案や都市近郊のメリットを活かす仕組みを提案してほしい。 地域の特色に応じた重点品目を定めて作付けの拡大を提案してまります。 １-(２)-①　農業の経営安定・拡大のサポート
神戸中央地区	声 料理教室や家庭菜園のワンポイトアドバイスなどの活動をしてほしい。 地域の皆さんが気軽に参加できる食農教育活動に取り組んでまいります。 ５-(１)　食農体験などをテーマとしたファンづくり
宝塚地区	声 宝塚地区の資源の活用や地域の活性化に向けた広報活動を期待している。 ＳＮＳの活用やマスメディアとの関係構築により効果的な情報発信に取り組みます。 ５-(１)-③　組合員・地域社会から理解と共感が得られる広報活動
西宮地区	声 農家人数が減ってきている中、准組合員・消費者も巻き込んだ事業活動を展開してほしい。 支店を拠点に地域の皆様に地元農畜産物の魅力を伝えられる活動に取り組んでまいります。 ５-(１)-①　ＪＡ運動の仲間づくり
三田地区	声 スマート農業の導入や学校給食の取り組みやなど、ＪＡならではの役割発揮に期待している。 質の高い相談・提案活動に向け、職員の専門性向上に努めます。 ４-(１)-②　高い専門性と提案力を発揮することができる人財の育成
川西地区	声 地域密着を基本に、しっかりと組合員と対話してほしい。 意見しやすいよう、少人数での座談会をするなど、対話の場づくりに努めてまいります。 ５-(１)-②　組合員の意思反映
尼崎地区	声 都市農業ならではの課題解決に役割発揮に期待している。 都市部消費者の理解醸成に向けた広報活動や都市農地相談活動を実施してまいります。 ５-(１)-①　農地（都市農地含む）相談機能を通じた農地の有効活用
伊丹地区	声 コロナ禍でコミュニケーションが低下している。活動の再活性化に努めてほしい。 趣味のサークルや勉強会など、組合員同士のつながりの場づくりに努めてまいります。 ５-(２)-①　組合員組織活動のさらなる活性化
猪名川地区	声 地域の課題解決に向け、これまで以上に対話を大切にしてほしい。 組合員・地域の課題を共有し、解決に向け話し合う場として、ふれあい委員会の再活性化に努めます。 ５-(１)　支店ふれあい委員会の活性化に向けた取り組み

８．店舗体制

（１）　本店、支店、出張所、店

（令和７年９月末現在）

店　舗　名	住　　所	ＡＴＭ台数	電話番号
本店	神戸市北区有野中町2－12－13	1	078-981-6550
垂水支店	神戸市垂水区向陽3－1－27	1	078-708-8001
垂水駅前出張所	神戸市垂水区天ノ下町1－1－158	2	078-707-1212
伊川支店	神戸市西区池上4－4－1	1	078-974-1901
西神文化センター出張所	神戸市西区伊川谷町潤和1058	1	078-974-2810
櫨谷支店	神戸市西区櫨谷町長谷68－1	1	078-991-1055
押部支店	神戸市西区押部谷町西盛323－2	1	078-994-1055
神出支店	神戸市西区神出町田井459－1	1	078-965-1055
平野支店	神戸市西区平野町下村325	1	078-961-0555
玉津支店	神戸市西区玉津町今津109	1	078-912-5412
岩岡支店	神戸市西区岩岡町岩岡944－1	1	078-967-1055
須磨支店	神戸市須磨区北落合1－4－36	1	078-792-1494
山田支店	神戸市北区山田町中字長尾サ28－2	1	078-581-2014
小部支店	神戸市北区鈴蘭台東町4－5－26	1	078-591-0911
西鈴蘭台出張所	神戸市北区南五葉1－2－25	1	078-591-6780
谷上支店	神戸市北区谷上東町7－3	1	078-581-1046
有野支店	神戸市北区有野中町1－4－20	1	078-981-5281
道場支店	神戸市北区道場町塩田18－2	1	078-986-2159
八多支店	神戸市北区八多町附物783－2	1	078-982-0001
大沢支店	神戸市北区大沢町中大沢字尾上1－2	1	078-954-0311
北神長尾支店	神戸市北区長尾町宅原2990	1	078-986-2685
淡河支店	神戸市北区淡河町淡河字久保垣748－1	1	078-959-0101
上淡河支店	神戸市北区淡河町野瀬715	1	078-958-0101
御影支店	神戸市東灘区御影郡家1-14-8	1	078-858-5031
神戸元町出張所	神戸市中央区海岸通１番地　農業会館１階	―	078-333-5851
宝塚長尾支店	宝塚市山本中3－17－16	1	0797-88-0137
宝塚支店	宝塚市米谷2－4－29	1	0797-86-0351
宝塚西支店	宝塚市小林2－3－27	2	0797-71-5241
宝塚西谷支店	宝塚市大原野字南宮2－4	1	0797-91-0002
宝塚安倉支店	宝塚市安倉中5－11－5	1	0797-84-5871
西宮支店	西宮市江上町8-21	2	0798-34-0555
夙川支店	西宮市石刎町10－26	1	0798-73-0264
西宮中央支店	西宮市神明町2－13	2	0798-67-2284
瓦木支店	西宮市大森町2－53	1	0798-67-2010
甲東支店	西宮市神呪町3－41	1	0798-51-3131
名塩支店	西宮市名塩1－25－10	1	0797-61-0611
名塩駅前店	西宮市名塩新町8	1	0797-61-1241
山口支店	西宮市山口町下山口5－2－14	2	078-904-0253
三田支店	三田市川除677－1	2	079-563-4191
三輪支店	三田市三輪1－8－6	1	079-563-4545
三田西支店	三田市上井沢26	2	079-567-1111
高平支店	三田市下里478	1	079-569-1101
川西支店	川西市栄根2－6－37	2	072-759-6971
久代店	川西市久代1－22－25	1	072-759-3306
加茂店	川西市加茂2－1－31	1	072-759-7782
美園店	川西市美園町12－9	1	072-759-7781
多田支店	川西市多田桜木2－11－21	1	072-793-1551
東谷支店	川西市見野2－29－4	1	072-794-1021
尼崎支店	尼崎市上ノ島町3－25－25	1	06-6424-2105
立花出張所	尼崎市立花町2－1－21	1	06-6429-8888

店　舗　名	住　　所	ＡＴＭ台数	電話番号
武庫支店	尼崎市武庫元町1－28－5	2	06-6433-3333
塚口支店	尼崎市塚口町1－11－1	2	06-6424-2171
大庄支店	尼崎市大庄西町3－18－18	1	06-6416-7981
小田支店	尼崎市潮江1－4－5	1	06-6499-6921
園田支店	尼崎市口田中1－28－1	1	06-6491-5831
園田駅支店	尼崎市東園田町4-95-14	2	06-6495-2223
昆陽池支店	伊丹市昆陽1－224－2	1	072-779-3151
伊丹支店	伊丹市中央2－9－16	1	072-772-1691
神津支店	伊丹市森本3－8	1	072-782-2105
昆陽の里支店	伊丹市池尻1－150－2	1	072-781-2542
天神川支店	伊丹市北野1－17	1	072-781-1669
猪名川支店	川辺郡猪名川町柏梨田字前ヶ谷157－10	1	072-766-0012

（２）　店舗外ＡＴＭ設置場所

場　　所		ＪＡバンク兵庫	台　数
神戸西資産管理センター池上店	神戸市西区池上3－3－2	ＡＴＭ	2
名塩支店（生瀬）	西宮市生瀬町2－9－5	ＡＴＭ	1
六甲のめぐみ	神戸市西区押部谷町高和字性海寺山1557-1	ＡＴＭ	1
山陽マルナカ玉津店	神戸市西区小山3－6－34	ＡＴＭ	1
イズミヤカナート西神戸店	神戸市西区竜が岡1－21－1	ＡＴＭ	1
三田市役所	三田市三輪2－1－1	ＡＴＭ	1
イオンモール猪名川店	川辺郡猪名川町白金2－1	ＡＴＭ	1
猪名川支店（六瀬）	川辺郡猪名川町笹尾字黒添ヱ 21	ＡＴＭ	1
三田西支店（藍）	三田市下相野 323	ＡＴＭ	1
三田西支店（本庄）	三田市東本庄 1319－2	ＡＴＭ	1

（３）　その他事務所

事　務　所　名	住　　所	電話番号
共済事故相談センター	神戸市北区有野中町2－12－13	078-981-5544
神戸西営農総合センター	神戸市西区平野町印路660－1	078-961-1277
神戸北営農総合センター	神戸市北区八多町屏風1145	078-981-5540
三田営農総合センター	三田市川除677－1	079-563-4192
阪神営農総合センター	川西市栄根2－6－37	072-769-8730
宝塚営農支援センター	宝塚市大原野字南宮2－4	0797-91-1565
西宮営農支援センター	西宮市江上町8-21	0798-34-0322
川西営農支援センター	川西市下加茂1－27－5	072-757-3575
尼崎営農支援センター	尼崎市武庫元町1－28-5	06-6433-3441
伊丹営農支援センター	伊丹市昆陽1－236－2	072-772-3302
猪名川営農支援センター	川辺郡猪名川町万善字南アジャリ178	072-767-8020
阪神販売センター	伊丹市北本町3-50	072-783-7770
都市農地相談センター	川西市栄根2－6－37	072-769-8730
経営相談センター	神戸市北区有野中町2－12－13	078-981-6657
神戸西資産管理センター	神戸市西区伊川谷町潤和1058	078-974-4564
神戸西資産管理センター池上店	神戸市西区池上3－3－2	078-975-2181
六甲北資産管理センター	神戸市北区有野中町2－12－13	078-958-5220
阪神資産管理センター	伊丹市昆陽1-224-2	072-773-6180
［子会社］		
株式会社　ジェイエイアクト　本社	神戸市西区伊川谷町潤和1058	078-975-5400
株式会社　ジェイエイファーム六甲	神戸市北区八多町屏風1145	078-987-3720
［関係団体］		
社会福祉法人ジェイエイ兵庫六甲福祉会		
オアシス向陽	神戸市垂水区向陽 3－1－27	078-704-3860
オアシス神戸西	神戸市西区伊川谷町潤和 1058	078-974-2805
オアシス神戸北	神戸市北区淡河町野瀬 715	078-950-9223
オアシス宝塚	宝塚市小浜 3－12－23	0797-85-5003
オアシス西宮	西宮市江上町 8-21	0798-61-5221
オアシス三田	三田市川除 677－1	079-569-7156
オアシス大和	川西市大和西 4－2－8	072-791-6366
オアシス尼崎立花	尼崎市上ノ島町 3－25－25	06-6424-2401
オアシス千歳（特別養護老人ホーム）	伊丹市中央 4－5－6	072-771-1500
オアシス千歳リハビリデイサービスセンター	伊丹市中央 4－4－2	072-771-1580
オアシス千歳ヘルパーステーション川西サテライト	川西市栄根 2－6－37	072-756-8650
オアシス伊丹池尻	伊丹市池尻 6－186－1	072-785-5070
オアシス猪名川	川辺郡猪名川町上野字北畑43	072-766-8001

Ⅱ　財務状況や事業に関する開示項目

１．農協法に基づく開示債権の状況および金融再生法開示債権区分に基づく債権の保全状況

（単位：百万円）

債権区分			債権額	保全額			
				担保	保証	引当	合計
破産更生債権およびこれらに準ずる債権		令和７年９月末	342	60	249	31	342
		令和７年３月末	454	132	274	46	454
危険債権		令和７年９月末	2,399	2,227	92	26	2,346
		令和７年３月末	5,187	4,985	78	41	5,105
要管理債権		令和７年９月末	－	－	－	－	－
		令和７年３月末	－	－	－	－	－
	三月延滞	令和７年９月末	－	－	－	－	－
		令和７年３月末	－	－	－	－	－
	貸出緩和	令和７年９月末	－	－	－	－	－
		令和７年３月末	－	－	－	－	－
小計		令和７年９月末	2,742	2,288	342	57	2,688
		令和７年３月末	5,641	5,117	352	88	5,560
正常債権		令和７年９月末	422,105				
		令和７年３月末	420,039				
合計		令和７年９月末	424,847				
		令和７年３月末	425,681				

（注）１．破産更生債権およびこれらに準ずる債権
破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権をいいます。

２．危険債権
債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

３．要管理債権
４．「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と５．「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額をいいます。

４．三月以上延滞債権
元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権およびこれらに準ずる債権および危険債権に該当しないものをいいます。

５．貸出条件緩和債権
債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権およびこれらに準ずる債権、危険債権および三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

６．正常債権
債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

２．自己資本比率（単体）

令和７年９月末	令和７年３月末（参考）
１３．７４％	１３．７３％

３．事業実績の推移

（単位：百万円）

		令和７年９月末	令和７年３月末	令和６年９月末
信用事業	貯金	１，５２３，７５７	１，５５２，５４６	１，５７１，０３１
	貸出金	４２４，７００	４２５，５４３	４２８，３２２
	預金	１，０２８，１８２	１，０５４，２６１	１，０７５，７９１
	有価証券	６８，９１２	６３，８０９	６６，１７８
共済事業	長期共済保有高	１，８２６，００８	１，８４９，９８８	１，８７３，４５３
	短期共済新契約高	８４８	１，６９７	８２６
経済事業	購買品供給・取扱高	１，６５２	３，５３０	１，６９５
	販売品販売・取扱高	７，９９８	１６，８０９	７，８１９

４．有価証券等時価情報

（単位：百万円）

保有区分	令和７年９月末			令和７年３月末		
	取得価額	時　価	評価損益	取得価額	時　価	評価損益
売買目的	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	－	－	－	－	－	－
その他	75,334	68,912	△6,422	70,048	63,809	△6,238
計	75,334	68,912	△6,422	70,048	63,809	△6,238

（注）１．時価は市場価格等によっています。
２．取得価額は取得原価又は償却原価によっています。
３．満期保有目的の債券については、取得価額を貸借対照表価額として計上しています。
４．その他有価証券については時価を貸借対照表価額としています

５．金銭の信託の時価情報

（単位：百万円）

区　分	令和７年９月末			令和７年３月末		
	取得価額	時　　価	評価損益	取得価額	時　　価	評価損益
運　用　目　的	－	－	－	－	－	－
満期保有目的	－	－	－	－	－	－
そ　の　他	５００	４９２	△７	５００	４９２	△７
合　　計	５００	４９２	△７	５００	４９２	△７

（注）１．時価は市場価格等によっています。
２．取得価額は、取得原価又は償却原価によっています。
３．運用目的の金銭の信託については、時価を貸借対照表価額とし、評価損益については当期の損益に含めています。
４．満期保有目的の金銭の信託については、取得価額を貸借対照表価額として計上しています。
５．その他の金銭の信託については時価を貸借対照表価額としています。

６．預かり資産の状況

①投資信託残高（ファンドラップ含む）

（単位：百万円）

	令和７年９月末	令和７年３月末
投資信託残高 （ファンドラップ含む）	３，４２２	２，４６８

（注）投資信託残高（ファンドラップ含む）は「約定日基準」に基づく算出です。

②残高有り投資信託口座数

（単位：口座）

	令和７年９月末	令和７年３月末
残高有り投資信託 口座数	６，２５６	５，８５１

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。